

朝霞市外部評価委員会（第6回）
次 第

日時 令和5年12月14日（木）
午後2時から
場所 朝霞市役所
別館5階 501会議室

1 開 会

2 議 事

- （1）令和6年度 行政改革推進実施計画について
- （2）令和6年度の外部評価について

3 その他

4 閉 会

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和6年度版】(案)

令和6年 月

朝霞市

行政改革の柱と主な取組

(1)集中的に実施する取組

取組名	実施項目	シート 番号
1 デジタル化の推進	1 行政手続の電子化	1
	2 ICTの導入による事務の効率化	2
2 公共施設等の計画的な 管理・運営	1 公共施設等の計画的な管理・運営	3

(2)定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組

取組名	実施項目	シート 番号
1 持続可能な財政運営	1 枠配分予算方式による予算編成	4
	2 多様な財源の創出・確保	
	3 補助事業の見直し	
2 市民との協働の推進	1 市民との協働の推進	5
	2 地域に関与する市民や団体の育成	
3 業務委託等の活用	1 業務委託の活用	6
	2 指定管理者制度の検証	
4 機能的な組織づくり	1 組織機構の見直し	7
	2 審議会の見直し	

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和6年度】

シート番号	1	分類	(1) 集中的に実施する取組
取組名	1 デジタル化の推進	実施項目	1 行政手続の電子化
推進課	デジタル推進課		
目的	来庁することなく申請・手続ができる手段を提供することなどにより、市民の利便性の向上を図る。		
取組内容	<p>①電子申請の拡充 各課における行政手続の電子申請(オンライン申請)の拡充を図る。また、国が「特に国民の利便性向上に資する手続」としている子育てや介護関係の26手続について、マイナポータルを利用した「ぴったりサービス」の活用を目指す。</p> <p>②キャッシュレス決済への対応 窓口での使用料や手数料などの支払にキャッシュレス決済を導入する。</p> <p>③自治体情報システムの標準化・共通化 対象となる20業務の自治体情報システムについて、国が求める令和7年度末までに、標準仕様に準拠したシステムへ移行する。</p>		
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を問わず行政手続が行えることにより、市民の利便性が向上する。 ・現金の収受を省いた迅速な決済が行えることにより、手続に要する時間が削減され、市民の負担が軽減される。 ・接触機会を減らすことにより、感染症の感染リスクが低減される。 		

1. 実施スケジュール

取組内容	令和6年度				令和7年度				令和8年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
①電子申請の拡充	手続の拡充 (関係課と調整・導入)		検証		手続の拡充 (関係課と調整・導入)		検証		手続の拡充 (関係課と調整・導入)		検証	
②キャッシュレス決済への対応	決済の拡充 (関係課と調整・導入)		検証		決済の拡充 (関係課と調整・導入)		検証		決済の拡充 (関係課と調整・導入)		検証	
③自治体情報システムの標準化・共通化	標準仕様に準拠したシステムへの移行準備			環境構築・データ移行				運用開始				

2. 関連する指標・数値等

- ①電子申請が可能となった手続数
- ②キャッシュレス決済を導入した事業数
- ③標準仕様に準拠したシステムへの移行完了業務数

3. 実績

4. 今後の方向性

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和6年度】

シート番号	2	分類	(1) 集中的に実施する取組
取組名	1 デジタル化の推進	実施項目	2 ICTの導入による事務の効率化
推進課	デジタル推進課		
目的	デジタルツールを導入、活用することにより、業務の効率化を図る。		
取組内容	<p>①定型的な業務にICT導入 AI^{※1}やRPA^{※2}、電子決裁、GIS(地理情報システム)などデジタルツールの導入やテレワーク環境の整備を検討する。また、音声自動テキスト化システムを活用することにより、職員の事務効率化を図る。</p> <p>②WEB会議システムを活用した会議等(市主催)の開催 市民向け講座、会議等にWEB会議システムを活用する。</p> <p>※1 AI:Artificial Intelligenceの略称で、人工知能のこと。人間の思考プロセスと同じような形で動作するプログラム、あるいは人間が知的と感じる情報処理技術。</p> <p>※2 RPA:Robotics Process Automationの略称。ロボットによる業務自動化。これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化することを指す。</p>		
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・業務効率化により生まれた人的資源を相談・企画等の非定型的な業務にあてることなどで、市民サービスの向上を図ることができる。 ・WEB会議システムを活用し、市民が参加しやすい環境を整えることにより、市民向け講座の開催形態の多様化や会議等を中止や延期することなく開催することができる。 		

1. 実施スケジュール

取組内容	令和6年度				令和7年度				令和8年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
①定型的な業務にICT導入	事例研究・関係課と調整・実証実験・導入 → 検証				事例研究・関係課と調整・実証実験・導入 → 検証				事例研究・関係課と調整・実証実験・導入 → 検証			
AI-OCR、RPA	活用事務の拡充 →		検証		活用事務の拡充 →		検証		活用事務の拡充 →		検証	
GIS (地理情報システム)	レイヤーの拡充 →		検証		レイヤーの拡充 →		検証		レイヤーの拡充 →		検証	
電子決裁	構築(関係課と調整・試行・検証) →				運用開始 →							
②WEB会議システムを活用した会議等(市主催)の開催	実施 → 検証				実施 → 検証				実施 → 検証			

2. 関連する指標・数値等

- ①削減した事務処理時間数
- ②WEB会議システムを活用した会議等の数及び市民向け講座の開催回数

3. 実績

4. 今後の方向性

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和6年度】

シート番号	3	分類	(1) 集中的に実施する取組
取組名	2 公共施設等の計画的な管理・運営	実施項目	1 公共施設等の計画的な管理・運営
推進課	政策企画課、財産管理課		
目的	市民が公共施設を将来にわたって安心して利用できるよう、計画的な維持管理を図る。		
取組内容	<p>①公共施設の維持管理費縮減 「朝霞市公共施設等マネジメント実施計画」に基づき、維持管理費縮減について検討を行う。</p> <p>②公共施設(未利用地含む)の有効活用 公共施設(未利用地含む)を有効活用できるよう検討を進める。</p> <p>③「朝霞市公共施設マネジメント基金」の活用 朝霞市公共施設マネジメント基金を設置し、公共施設の保全及び更新に必要な経費の財源を積み立て、今後の修繕費用に充てる。</p>		
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝霞市公共施設等マネジメント実施計画」に基づいた適切な維持管理の手法を実施することで、経費削減を図る。 ・公共施設(未利用地含む)を有効活用することで不動産貸付料による増収につながる。 ・「朝霞市公共施設マネジメント基金」を適切に運用することで、今後見込まれる多額の必要経費に備える。 		

1. 実施スケジュール

取組内容	令和6年度				令和7年度				令和8年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
①公共施設の維持管理費縮減	実施			検証	実施			検証	実施			検証
②公共施設(未利用地含む)の有効活用	実施			検証	実施			検証	実施			検証
③「朝霞市公共施設マネジメント基金」の活用	積立・運用			検証	積立・運用			検証	積立・運用			検証

2. 関連する指標・数値等

<p>①公共施設の維持管理費の縮減額</p> <p>②貸付等による収入額</p> <p>③「朝霞市公共施設マネジメント基金」を充当した事業数</p>
--

3. 実績

--

4. 今後の方向性

--

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和6年度】

シート番号	4	分類	(2) 定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組
取組名	1 持続可能な財政運営		
推進課	政策企画課、財政課		
目的	厳しい財政状況が続く中、将来にわたって市民サービスが適切に提供できるよう、予算編成の過程において既存事業の見直しや自主財源の確保を行い、限られた財源の有効活用を図る。		
実施項目	<p>① 枠配分予算方式による予算編成 厳しい財政状況の中、収入に見合った予算編成ができるよう、職員一人ひとりがコスト意識を持ち、既存事業の優先順位付けやコスト削減に向けた見直しを徹底する。</p> <p>② 多様な財源の創出・確保 国や県の補助金を有効的に活用できるよう、新規事業や部署を横断する事業等を実施する際には関係部署と連携を図る。あわせて、ふるさと納税の活性化、有料広告収入の拡大など新たな自主財源の創出・確保(ガバメントクラウドファンディング、ネーミングライツなど)を目指す。</p> <p>③ 補助事業の見直し 他市の状況や市民ニーズを踏まえ、市単独の支援制度の必要性や適正水準を検討し、公平性の確保を図る。</p>		
実績及び今後の方向性 (年度末に記入)	実績	今後の方向性	

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和6年度】

シート番号	5	分類	(2) 定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組
取組名	2 市民との協働の推進		
推進課	政策企画課、市政情報課、地域づくり支援課		
目的	様々な世代の市民が、市政やまちづくりに関わられるような仕組みを構築することにより、市と市民との協働によるまちづくりを推進する。		
実施項目	<p>①市民との協働の推進 市民参画を推進するための制度(公募委員、市政モニター制度など)が、より有効に機能するよう、改善と拡充に取り組む。また、市民活動団体などと協働・連携した行政運営を図る。</p> <p>②地域に関与する市民や団体の育成 講座や講演会等の開催を通じて、地域での活動に関心を持つ人材を発掘するとともに、近隣市の団体との交流を図るなど、NPO法人等の市民活動団体の活動を支援する。</p>		
実績及び今後の方向性 (年度末に記入)	実績	今後の方向性	

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和6年度】

シート番号	6	分類	(2) 定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組
取組名	3 業務委託等の活用		
推進課	政策企画課		
目的	行政サービスを効果的かつ効率良く提供し、市民サービスを向上させるための業務委託について検討する。		
実施項目	<p>①業務委託の活用 業務の必要性、効率性を精査し、質の高い行政サービスの提供が可能となる事業について、業務委託を検討する。</p> <p>②指定管理者制度の検証 現在の指定管理者制度について検証し、より有効な施設の管理に向けて今後の在り方を検討する。</p>		
実績及び今後の方向性 (年度末に記入)	実績		今後の方向性

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和6年度】

シート番号	7	分類	(2) 定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組
取組名	4 機能的な組織づくり		
推進課	政策企画課		
目的	社会状況の変化に伴って多様化する行政需要に対し、機動的に対応するための組織づくりを図る。		
実施項目	<p>①組織機構の見直し 多様化する行政需要に対応するため、組織機構及び所掌事務の見直しを行う。 また、臨時の対応が必要な事務や複数部署にまたがる事務などについては、適宜プロジェクト・チームを設置し、迅速かつ柔軟に対応する。</p> <p>②審議会の見直し 審議会等の効率的な活用を図るため、性質の似た会議体の整理・統合を行うなど、審議会等の在り方を検討する。</p>		
実績及び今後の方向性 (年度末に記入)	実績	今後の方向性	

朝霞市行政改革推進実施計画【令和6年度版】
(令和6年 月発行)

発行 朝霞市
編集 政策企画課
〒351-8501
埼玉県朝霞市本町 1-1-1
電話 048-463-1111(代表)
URL <https://www.city.asaka.lg.jp>

質問No.	シート番号	取組名 実施項目	委員からの質問	担当課	担当課からの回答	委員
1	1	1 デジタル化の推進 1 行政手続の電子化	ヒューマンエラーは起こるという前提で、致命的な事故にならない設計をする必要があるのではないのでしょうか。それとアップデートやパッチなど頻繁に行うことが、安全につながるかと思えます。	デジタル推進課	情報セキュリティ対策として、現在使用している住民情報システム等においては、事故防止のため、注意喚起のポップアップや使用権限の細分化等、システム上のヒューマンエラー防止対策を実施しています。また、不正プログラム対策として、ソフトウェアのパッチやバージョンアップに関する規定等を整備し、内容等を精査した上で、適切な時期に実施するなど、適正な運用に努めています。 今後も、いただいた御意見等を踏まえ、引き続き情報セキュリティ対策を徹底した取組を推進してまいります。	菅沼委員
2	1	1 デジタル化の推進 1 行政手続の電子化	子育てや介護関係の26手続は全体の何パーセントに当たりますか。また、26手続は今年度中の目標でしょうか。	デジタル推進課	国が「地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続」として示す59手続のうち、本市では49手続が対象となっており、「特に国民の利便性向上に資する手続」として選定された子育てや介護関係の26手続は、約53.1パーセントに当たります。また、26手続について、朝霞市行政情報デジタル化推進方針では令和7年度までのオンライン化を目標としており、これまでに15手続のオンライン化を実現しています。	小島委員
3	5	2 市民との協働の推進	①これからの時代に必要な取組だと思います。改善、拡充への取り組みは、今の段階でどんな案がありますか。 ②地域での活動に関心のある人材を発掘するという視点、とてもいいと思います。市政がより市民のニーズに合致していくと思います。各課への、より一層のそのような意識の転換を、どのように進めていこうと思われていますか。	①政策企画課 市政情報課 ②政策企画課 地域づくり支援課	① 公募委員候補者名簿および市政モニターへの登録については、令和4年度は1,500名に対して送付していた登録依頼の通知を、より多くの方に登録いただけるよう令和5年度は2,000名に送付する予定です。 現在、若年層（20代・30代）の登録者が少ないことや、公募委員に登録したものの公募委員になる機会がない方がいることなどの課題があることから、引き続き登録方法の検討や公募委員の登用について働きかけを行ってまいります。（政策企画課） 市政モニターに関する改善、拡充への取り組みとして、広く若年層にも意見を伺えるよう登録対象年齢の要件を拡大することや、他の広聴制度も含めて各制度がより有効に活用されるよう活用の方法や事例等を庁内に周知していくことを検討しています。（市政情報課） ② 市民参画のための様々な手法等の職員への周知など、市民との協働を推進してまいります。（政策企画課） 市民活動支援ステーションでは、市民の皆さんに地域での活動に関心を持っていただけるよう「地域デビュー支援セミナー」を開催しております。また、市内で活動する団体を紹介する「あさか市民活動ガイドブック」を発行し、庁内各課をはじめ関連団体および市民の皆さんに配布しております。（地域づくり支援課）	青山委員
4	6	3 業務委託等の活用	現在、業務委託を検討している分野は何かあるのでしょうか。	政策企画課	専門的な業務等が必要な場合に、外部への委託を行っております。今後においても分野を問わず、各部署で必要に応じて委託の検討を行ってまいります。	青山委員
5	6	3 業務委託等の活用	この取組で目指す姿、あるいは「改革」の視点や方向性について、来年度の実施概要も含めてもう少し具体的に示していただけませんか。 業務委託や指定管理者制度をどのように行政改革に結びつけていくのか、従来とどう異なるのかをご説明いただければと思います。	政策企画課	「業務委託等の活用」の取組については、これまでの取組で、活用が可能な業務や施設への導入がある程度進められてきたことから、「定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組」として位置づけ、今後も、引き続き検討を行っていくこととしています。 この取組では、未導入の業務や施設への導入の必要性を検討するだけでなく、すでに導入している業務や施設において、業務委託等の必要性や効果を常に評価・見直ししていくことで、適正な業務委託等の運用を進めていくものです。	宮澤委員
6	7	4 機能的な組織づくり	似た会議の統合を行うのはよいと思います。 公募での市民の委員をもっと増やしてほしいです。市政と市民の繋がりが、より深まると思います。検討することは可能ですか。	政策企画課	審議会ごとに、審議の内容に応じた構成や委員数、任期等を定めていることから、直ちに公募委員を増やすことは難しいと考えますが、改選などの機会を捉えて、公募委員の登用について検討するよう、引き続き働きかけてまいります。	青山委員

外部評価の実施に関するアンケート結果

資料6-3

1 会議までの流れ		1	2	3
【選択肢:1 適切である、2 概ね適切である、3 適切でない】				
(1)	事前送付資料及び当日配布資料の量、内容等について	2	8	0
(2)	委員から事前質問を募集し、所管課が作成した回答を会議資料としたことについて	4	6	0
(3)	事前質問への回答を送付する際、補足資料も提供したことについて	7	3	0
(4)	<p>【回答理由等】(自由記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を言っているのか不明点あり。もっと具体的に例で示してほしい点あり。 ・回答を頂く際、補足資料を付けて頂けたことは理解を深めるうえで良かったと思いました。 ・過去の経験が生かされてスムーズに運営されていると感じた。 ・資料の内容は概ね良かったが、量が多かった。 ・事前質問の回答までの期間が短く、対応が難しかった。 ・所管課の回答がもの足りないものが時々見受けられた。 ・今年度からの急遽の参加ということで、限られた時間の中での初回の資料の多さに圧倒されました。しかし、その後は事前の質問やご回答を見て資料の見方もよくわかるようになり、心の準備もでき会議に臨むことができました。 ・資料が多いように思われます。 ・資料から事前質問を起こす時間が短期間かと思えます。特に多量の資料の場合に大変かと思えます。 			

2 会議の進め方		1	2	3
【選択肢:1 適切である、2 概ね適切である、3 適切でない】				
(1)	1テーマにつき1時間程度とし、1回の会議で最大1テーマについて話し合っていたいただいた時間配分について	3	7	0
(2)	テーマに関連する施策ごとに意見交換を行ったことについて	6	4	0
(3)	意見交換の際、テーマの担当課が出席し、委員からの質問に回答したことについて	8	2	0
(4)	「行政改革」について、昨年度の実績をもとに意見交換を行ったことについて	4	5	1
(5)	意見のまとめ方について	4	5	1
(6)	<p>【回答理由等】(自由記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の時間が少ない。問題点がもっと解決出来るところまで話してほしい。項目をもっと深く取り上げてほしい。 ・ 最初のテーマにかかる時間が長く最後のテーマがタイトになってしまう時があった。大変難しいと思いますが、もう少し均等に時間配分いただけると良いかと感じます。 ・ 質問をする委員が少なかったのが残念です。 ・ 意見をまとめるに当たって、意見交換の後、一定の時間枠をとって委員会内部で議論・検討するプロセスを踏まず、正副委員長に諮ってまとめるやり方は委員会全体の意見が反映されない虞れがある。 ・ 行政改革については、課題認識や目標、進捗状況が少し分かりにくかったと思います。 ・ 委員からの質問・意見でありましたが、行政改革は、国、県、市がスリム化のためにやっているもので、外部評価委員が評価するものなのかという意見が腑に落ちました。再検討の必要性があると思いました。 ・ なるべく皆さんの意見を聞こうとご配慮くださっていることや、全く行政には素人の意見を理解しようとしてくださる司会の方々や担当の方々に感謝しています。 ・ 事前質問で回答をいただきながら、同じ内容を評価するのは時間の無駄のように思われます。各御担当者からの御回答に問題がなければ次の事案に速やかに進んだ方が時間の平均化が図れるのではないのでしょうか。 			

3 評価方法		1	2	3
【選択肢:1 適切である、2 概ね適切である、3 適切でない】				
(1)	コンセプトごとの重視すべき事項に関連する施策評価シートを中心に評価していただいたことについて	5	5	0
(2)	「総合戦略」について、総合計画についての意見の中から、総合戦略に重なる部分を抜き出し、所見としてまとめたことについて	5	4	0
(3)	<p>【回答理由等】(自由記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価点についてコメントがあったらと思う。この点が評点とか評価の減点は何かが示されれば次なる点を見られる。 ・ シートも「総合戦略」も分かりやすく理解しやすいと思います。 ・ 評価方法は合理的と考えます。 ・ 表などはもっとシンプルに見やすくしていけるのではないかと思います。ずいぶん見やすくされてきたとは思いますが…。 ・ コンセプトごとに進めたことは、他と重なる部分があったとしても私にはわかりやすく良かったと思います。 ・ 現行方法で問題ないように思われます。 			

4 今後		1	2	3
【選択肢:1 今後も必要である、2 必要であるが見直すべき、3 必要でない】				
(1)	外部評価の必要性について	8	2	0
(2)	<p>【回答理由等】(自由記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会として実際にその場所に行って状況を調べ見きわめることが必要ではないか。道路、駅前等を見ることで、尚共通点などが理解できるのではないか。 ・ 市職員の方が政策に対して、市、市外の方々の意見を傾聴頂くことは大切だと考えます。委員の年齢がもう少し幅広い方々を委嘱できると良いかと思います。 ・ 外部評価委員会は、朝霞市が取り組んでいる諸施策に対するご意見を伺う場として貴重です。今後も、時代変化に合わせた運営に心掛け、長く開催されるよう希望します。 ・ 市議会によるチェック機能との差別化に留意し、市民に具体的な利益が還元されるような評価制度となるよう評価の進め方や報告書のまとめ方を見直すべき。 ・ 一般公募の市民を増やしてほしいと思いました。もっと多様な意見があると思います。 ・ 会議の中で、昨年度の意見が活かされていないというご発言を聞いた際は、やはり素人の一般人の自由な意見なんて言っても仕方ない、会議も形式的なものなのかもしれないと少し残念に思ったのも正直あります。しかし、様々な事情がある中で物事がそう簡単に変わるわけではないし、変化の途中かもしれない、または本当に実現不可能なことだったのかもしれない今は思っています。実際には無理な意見というものも、多くあると思いますが、それでも、よりよい朝霞市を目指して、皆さんが貴重な時間を割き、市民の評価や意見に耳を傾けご回答くださるこの機会は大切なのではないかと思えます。また、この外部評価の中から何かヒントになることが、少しでもあれば、それは意味のあることなのではないかと思えます。この外部評価を通じて、私自身は朝霞市の取り組みがより理解できましたし、朝霞市民でよかったと思いました。一市民が行政について、意見、評価できるこの機会には私は継続していくべきではないかと思えます。 ・ 有識者の方の出席はいいとしても、各団体からの代表の方々の発言はかなり偏っていたように思われます。 			

【その他、御意見・御感想】(自由記述)

- ・ フリートークで項目について話をできればと思います。視察できる項目は見た方が良く思う。
- ・ 事前質問をされる委員とされない委員が偏っているように感じました。最低でも1問ほどでも全委員より質問を上げて頂いた方が、幅広い意見が聞けたのではと感じました。
- ・ この先、朝霞市が取り組んでいるデジタル化の一環にこの委員会を取り込み、もっと多くの住民からご意見をお聞きし、住民満足の向上に繋がる仕組みとして発展することを期待します。
- ・ 行政改革について、市のテーマ設定の意図と、委員が行政改革に期待することに乖離(「改革」という言葉に対する期待やイメージの格差)があるように思われます。市の課題意識から出てきたテーマとともに、市民の要望や意見から抽出されたテーマを設定したり、既存のテーマの中に市民の要望や意見から抽出された課題も設定するなどして、取り組んでみてはいかがでしょうか。委員が質問してそれに行政が答えるというだけでは、なんとなく距離感が縮まらないように思います。理想としては、意見交換の中でより良い方策を探ることができるような会議になるとさらによいと思います。
- ・ ペーパーが多い。ペーパーレスにも取り組んでいただきたい。
- ・ 大方が7~8月で終わり、急ぎのかけ足気味を感じます。まとめや他の委員会との兼ね合いもあるのですが、大切な第5次朝霞市総合計画の外部評価なのでもっと会議の回数があってもいいのではと感じました。あと、昼間に仕事をしている人でも参加できるように資料送付、メールでのやり取りの参加、職員が代弁するなど多様な参加方法もあればいいなと思います。所管課の回答で、全体像が見えず、わかりづらいことが多々あったのですが、例えば朝霞駅から市役所への通りを広げることなどに対して、県とのかね合いで難しくなっているなど、知ると納得できることもありました。(私の理解の範囲なのですが…)外部評価委員会を外部からの批評とは受け取らず、外部評価委員と市民と共にどうしたらもっと暮らしやすい朝霞市になるのか考え、意見を出し合い、新しい方向への転換のきっかけの場などにとらえ直してもらえたらいいなと思いました。国、県への働きかけなどより一層の朝霞市運営の自主性を期待しています。外部評価委員会の名称自体を変えられてもいいのではと感じました。
- ・ あくまでも外部評価委員会であるので、資料について評価するだけでいいと思います。1年目は慣れないこともあり、各委員の要望まで発言されていたように思います。時間(会議開催)内での討論に徹した方が良くはないかと思いました。
- ・ 会議の日程が7月に集中しておったので、もっと分散をしてほしかった。質問が限られた人からしか無かったのですが、一度も質問をしない人がいたのは残念でした。

資料 6-4

令和5年度

(1)集中的に実施する取組

取組名	実施項目	シート番号
1 デジタル化の推進	1 行政手続の電子化	1
	2 ICTの導入による事務の効率化	2
2 公共施設等の計画的な管理・運営	1 公共施設等の計画的な管理・運営	3

(2)定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組

取組名	実施項目	シート番号
1 予算編成事務の見直し	1 予算編成事務の見直し	4
2 財源の確保	1 多様な財源の創出・確保	5
	2 補助事業の見直し	
	3 使用料・手数料の適正化	
3 市民との協働の推進	1 市民との協働の推進	6
	2 地域に関与する市民や団体の育成	
4 業務委託等の活用	1 業務委託の活用	7
	2 指定管理者制度の検証	
5 機能的な組織づくり	1 組織機構の見直し	8
	2 審議会の見直し	

令和6年度(案)

(1)集中的に実施する取組

取組名	実施項目	シート番号
1 デジタル化の推進	1 行政手続の電子化	1
	2 ICTの導入による事務の効率化	2
2 公共施設等の計画的な管理・運営	1 公共施設等の計画的な管理・運営	3

(2)定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組

取組名	実施項目	シート番号
1 持続可能な財政運営	1 枠配分予算方式による予算編成	4
	2 多様な財源の創出・確保	
	3 補助事業の見直し	
2 市民との協働の推進	1 市民との協働の推進	5
	2 地域に関与する市民や団体の育成	
3 業務委託等の活用	1 業務委託の活用	6
	2 指定管理者制度の検証	
4 機能的な組織づくり	1 組織機構の見直し	7
	2 審議会の見直し	